

○ これまで、事業制度拡充等によって追加の提出書類や記載項目が発生した際には、事業制度拡充等に伴い不要となった事務手続きを廃止した上で、最小限かつ効率的なものとなるように配慮するとともに、変更事項に対する理解を促進するため、担当者向けの解説の整理や説明会を実施。

制度拡充時の事務効率化の取組の例

不要な手続の削減	制度拡充に伴い不要となった要件や書類を廃止。
提出書類の配慮	制度拡充や新たな要件化の際、追加する提出書類や記載項目は最小限に抑制。
	可能な限りエクセルによる選択式の様式にし、事務作業を効率化。 その際、類似の選択肢を大括り化するほか、各様式間の参照による自動入力を設定し、入力箇所数を約6割削減※。 ※多面支払において、R1年度より開始。
オンライン活用による省力化	農業者向けオンライン研修※の活用により対面での指導、研修の受講を代替可能。 ※環境支払における国際水準GAPの取組について実施。
理解促進のための取組	行政担当者向けの確認マニュアルや制度解説の作成、担当者説明会を実施。

農地維持支払－地域資源の基礎的な保全活動

これまで		これから
活動項目	取組	取組
実践活動	水路の草刈り	<7>水路の草刈り
	ポンプ場、調整施設等の草刈り	
	水路の泥上げ	<8>水路の泥上げ
	ポンプ吸水槽等の泥上げ	
	かんがい期前の注油	<9>水路附帯施設の保守管理
	ゲート類等の保守管理	
	遮光施設の適正管理	7個→3個に削減

実施状況報告書

これまで 活動計画書や活動記録、金銭出納簿を参照しながら手入力

これから 各シートの様式間の参照により、**入力箇所数を約60%削減** 作成が容易に！

取組	計画	実施	項目	金額
点検	☐	☐	日当	500,000円
年度活動計画の策定	☐	☐	購入・リース費	200,000円

活動計画書に入力すると自動で入力される

活動記録に入力すると自動で入力される

金銭出納簿より自動で入力される

実施状況確認報告書（市町村担当者作成）

実施状況報告書等からの参照により**入力不要に** ※エクセル形式で報告書が提出された場合